



船形山  
(御所山)

湯谷地

千本松

船形山  
小屋

升沢小屋

至：登山口

升沢小屋までは、沢を下る道。この沢から升沢小屋へ行く分岐が分からず、そのまま沢を下ってしまう。おかしいと気づき、下った沢を上り返し、登山者に出会うことができたため事なきを得た。

蛇ヶ岳

沢の道が荒れていた場合、沢なのか道なのか分からない場合が多い。今回の事例は「沢を下ると升沢小屋が出てくる。」といった単純な地図の先読みから道迷いになったものと思われる。

迷われた方は「本当に、このルートであっているのか？」と自問自答。しかし、道迷いの不思議は「何十分も掛けて、ここまで沢を下りてきた以上は、今更、引き返せない。下りるしかない。」となるわけだ。さらに、沢を下り続け、水深1~1.5メートルの沢の深みと、かなり極端な勾配が目の前に広がって初めて「これは、絶対に、ルートが違う・・・」となる。

迷われた方は、ルートが違うと確信してからの行動は冷静で遭難までには至らなかったのが幸いだった。

大切なのは、「地図の先読み」と「あれっ？おかしい？」と思った時の初期の判断である。この初期の判断で笑い話の道迷いで終わるのか、救助を求めるのか違ってくる。